

2021 年度

事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ソーシャルフットボール協会

1 事業の成果

今年度に国内各地で当会会員が中心となって運営を予定していた大会等は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大・持続のためほとんどが中止・延期となった。その中で、障がいの有無や種類に関わらず参加するイベントは医師会や行政の協力を経て施行できた。また、10月にペルーで開催予定であった国際大会に向け、日本代表候補を選出していたが、大会は延期となった。しかし、感染予防対策を行いながら代表強化活動として国内合宿を2回行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【5,390】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1)精神疾患及び精神障がいをもつ人を対象とするフットボール全国大会等の開催	ソーシャルフットボール大会各地域大会	3月13,21日	関東	35名	精神疾患・障害をもつ人および観客	91名	140
(2)一般市民と精神疾患・障がいをもつ人がともに楽しむフットボール大会等の開催	疾患・障害の有無を超えて結成されたチームの参加、精神疾患・障がいをもつ人のチームと一般市民のチームが分け隔てなく対戦するバリアフリー大会等の開催	7月25日	千葉ポートアリーナ	12名	市民及び精神疾患を持つ人	37名	100
(3)選手の育成及び技術向上のためのフットボール教室等の開催	なし	なし	なし	0名	精神疾患を持つ人	0名	0
(4)関係機関との協力・協働による講演会等の実施	市民公開講座（ヤンセンファーマ株式会社と共催）	12月5日	オンライン	6名	市民、不特定多数	51名	100
(5)国際的な交流事業や国際大会の実施	ソーシャルフットボール日本代表活動	12月17-19日 3月4-6日	徳島 東京	22名	精神疾患当事者の選手、代表スタッフ	19名	5,000
	精神障がい者フットボール国際委員会	通年	オンライン	6名	国際委員会メンバー等	200名	0

(6)普及啓発のためのホームページ等の運営	ホームページによる情報の発信	通年	事務所	5名	市民, 不特定多数	不特定多数	50
-----------------------	----------------	----	-----	----	-----------	-------	----